



ものづくりでむつ市のまちをもっと元気にしよう!

『下北ジオパーク応援Project』 (ちぢり浜編)

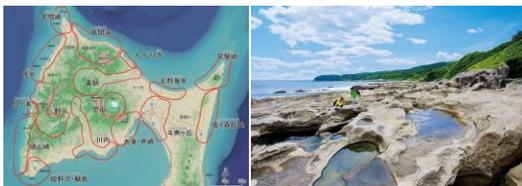
(下北ジオパーク夢実現プログラム補助金事業)

〈事業概要〉

令和3年2月に下北ジオパークが日本ジオパークに再認定され、今後はユネスコの世界ジオパークを目指すことが宣言されたことから、下北ジオパークの周知広報を後押しする取り組みを実施するため、当校で実施している職業訓練の知識・技能を活かし、ちぢり浜ジオサイトで活動している団体等と協力・連携しながら、ちぢり浜ジオサイトにどのようなものが必要か検討し、ものづくりをとおして地域全体の活性化につなげるとともに、事業活動をとおして訓練生の自尊感情の育成と郷土愛の醸成を図ることを目的に実施する。

現状と課題

令和3年2月に日本ジオパークに再認定
今後はユネスコの世界ジオパークを目指す



下北半島には18のジオサイトがあり、ちぢり浜はそのひとつとなっている

しもきたTABIあしすと

・県内小中学校へ下北半島への修学旅行を提案

むつ市下北自然の家

- ・ちぢり浜ジオサイトの拠点施設
- ・下北半島の生涯学習の拠点(社会教育施設)
- ・あおもり教育旅行のコースの一部
- ・市民を対象とした体験プログラムが年間を通して企画されている。
- ・下北地域の多くの小学校が、ちぢり浜周辺の環境を利用した体験プログラムを利用

多くの方に「ちぢり浜ジオサイト」の魅力を伝えるには…?

ジオサイトの特徴を活かし、自分たちが
できることを通じた地域活動を展開

事業内容

◇人がよく集まる場所へジオサイトの説明看板や散策コース上にちぢり浜などの風景をゆっくり楽しめる施設・設備を設置し、ちぢり浜ジオサイトの周知につなげていく。



現状を確認するためのフィールドワークを開催
(自然の家職員・下北ジオパークガイドの説明)

アイデア出しのワークショップを開催



実行委員会で決まった方針を基に
ジオサイトのリノベーション計画を作成

地元中学生と連携したものづくりワークショップを
開催→地域活動に関心をもってもらう(大畑中)

むつ高等技術専門校の木造建築科の
訓練生が主体となってハード面を整備



その後の活用方法は…

むつ市下北自然の家や下北ジオパークガイドの会
などと協力・連携し、整備したものが活用できる
よう事業を展開する。
(地域資源にストーリーと付加価値をプラスする)

事業効果

地域

- ・下北ジオパークの周知広報を後押し
- ・ジオサイトに必要な施設設備の整備
- ・訓練生との交流による地域活性化
→持続可能な地域活動の展開

訓練生

- ・地域交流による自尊感情の育成
- ・生きた教材による技術力の向上
- ・地域貢献への意識の高まり
→郷土愛の醸成、修生生の県内定着



むつ高等技術専門校

- ・技術力の向上のみならず、人格形成、地域活性化に資する技専校としての認知度向上
- ・地域に必要とされる技専校
→入校者の増加、他技専校のモデル

元気な下北をつくる人づくり

地域を愛し地域の未来を担う
モノづくり人財の確保・育成

地域コミュニティと
地域アイデンティティの醸成

